



# 地方自治体が海外の自治体職員を受け入れる活動を支援しています！ 自治体職員協力交流事業（LGOTP）

（一財）自治体国際化協会交流支援部経済交流課 主事 早日渡 暁子（宮崎県派遣）

## LGOTPとは

クリアでは、総務省と連携し、1996年度から「自治体職員協力交流事業(Local Government Officials Training Program in Japan : LGOTP)」を実施しています。

この事業は、海外の自治体などに勤務する職員を「協力交流研修員」として6カ月から1年間、日本の自治体に受け入れ、日本の自治体が見つさまざまなノウハウや技術などを研修員に習得してもらうとともに、研修員が自治体の国際化施策などに協力することを通じて、地域の国際化推進を目指しています。

LGOTPに参加した研修員は帰国後、現地の自治体に復職するため、受入自治体との文化交流・経済交流のキーマンとしての活躍が期待され、受入自治体の国際的なプレゼンス向上にもつながる事業です。

（参考：クリアホームページ）

2024年度は、11人（中国5人、韓国2人、ネパール2人、マレーシア1人、ペルー1人）の研修員が来日しました。これまでの累計で42カ国と1地域から1,213人の研修員が日本の各自治体で学び、帰国後、現地の各自治体で活躍しています。

### 【事業の流れ】 ※下記は例年の日程

前年8月	・利用要望調査開始
前年10月	・利用要望調査回答
前年11月～12月	・研修員の募集・選考
1月	・研修員決定
2月～4月	・来日に向けた手続き
5月	・研修員来日 ・オリエンテーション・東京研修
5月～6月	・JIAM研修（日本語研修他）
6月下旬	・研修員の受入自治体への赴任 ・受入自治体での専門研修
11月～翌年5月	・研修終了後、順次帰国



2024年度 LGOTP 参加者



JIAM・日本語研修 閉会式

当事業では研修員全員が一斉渡航で来日するため、研修員到着時間に合わせて空港にてクリア職員と渡航委託業者のスタッフが一緒に出迎えを行います。来日後の流れとしては、東京にてオリエンテーションなどを行い、全国市町村国際文化研究所（JIAM）へ移動してから約1カ月間の日本語研修を行います。また、2024年度は、JIAM研修期間中、地域の住民と交流の時間を提供する目的として、日野町役場の協力を得て実施する日野町スタディーツアーや、研修員たちが唐崎中学校を訪問し、自己紹介などを行いながら学生と交流する唐崎中学校訪問プログラムなど、日本語学習以外にもさまざまなプログラムを用意しました。

## LGOTP ならではのメリット

### (1) 姉妹都市との協力関係を強化

- ➔ 研修を通じた協力関係の強化、職員相互の技術向上
- ➔ 姉妹都市との人的ネットワークを構築、海外観光客の誘致活動強化

### (2) 多文化共生に配慮した行政サービスを強化

- ➔ 外国人市民と行政との懸け橋として活躍

### (3) 中長期的な文化・経済交流のキーマンとして活躍

LGOTP は、継続的な自治体間の協力と国際交流を推進し、派遣元自治体と受入自治体の双方が学びあえるプログラムです。(1) 姉妹都市と協力関係を強化したい(2) 多文化共生に配慮した行政サービスを強化したいなどの自治体のニーズに合わせ、研修員と協力しながら取り組むことで、職員相互の技術向上や外国人市民と行政との懸け橋としての活躍が期待されます。研修員は帰国後、原則的に現地の自治体へ復職するため、中長期的にはLGOTPのOB・OGを起点に、姉妹都市との協力関係のさらなる強化、あるいは人的ネットワークのなかった都市との新たな関係構築を図ることができ、文化交流、経済交流のキーマンとしての活躍が期待されます。

自治体独自ではなくLGOTPを介して研修員を受け入れるメリットとして、日本語研修手配の業務負担の軽減や、自治体へ入る前に一定程度の日本語能力・日本文化への理解が身につけられることが、今年度受入自治体へのアンケートで挙げられていました。また、研修員の受け入れに係る費用については、交付税措置がなされるため、日本語研修を含むあらゆる面で負担軽減が図られます。JIAM研修中はクリア職員が同行しているため、研修員が安心して過ごすことができると好評です。クリアでは地方自治体が海外の自治体職員を受け入れる活動を支援しております。当課へのご連絡をお待ちしています。

お問い合わせ先はこちら

交流支援部 経済交流課  
TEL : 03-5213-1726  
MAIL : lgotp@clair.or.jp

### 〈研修員レポート〉



氏名：キムシヒョン  
金柿儼  
김시현

出身国：韓国 慶州市  
受入自治体：大分県宇佐市  
研修分野：一般行政

慶州市と宇佐市は長い間、友好な関係を築いており、その一環として私が派遣されました。最初は慣れない環境に緊張していましたが、部署の方々からたくさんのサポートをいただき、今では宇佐市が故郷のように感じられます。

宇佐市の第一印象は、何といっても自然が美しいことです。特に、広がる田んぼに夕焼けの空が映る風景はとても素晴らしく、何度も写真を撮りました。

宇佐市はドジョウ、唐揚げ、味ネギが有名です。私はそれらすべてを美味しくいただきました。また、全国八幡社の総本宮である宇佐神宮も非常に有名で、そこで開催される夏越し祭りもとても印象的でした。その他にも、「うさからくん」というマスコットの活躍など、帰国後に活用できることがたくさんありました。

今後も宇佐市と慶州市の良好な関係が続くことを願い、懸け橋として最善を尽くします。

### 〈研修員レポート〉



氏名：ショウウセイ  
肖雨晴

出身国：中国  
湖南省常德市  
受入自治体：滋賀県東近江市  
研修分野：地方自治行政

東近江市は奥深い歴史と文化を有するまちです。「五個荘金堂の町並み」「伊庭の水辺景観」「永源寺と奥永源寺の山村景観」が日本遺産に認定されています。

また、東近江市は自然豊かな場所で、近畿最大の耕地面積を誇る一大穀倉地帯を形成しており、多種多様な農産物を生産しています。畜産業も盛んで、日本三大和牛の1つである「近江牛」の生産も行われています。私の故郷、常德市も農産物が豊富で、東近江市の農業推進や管理のノウハウを学びたいです。

今回の研修を通じて、日本の文化や東近江市の地方自治について一生懸命に勉強し、東近江市で感じたこと、学んだことを常德市のみんなに伝えたいと思っています。そして、両市の友好的な関係をより一層深めるために両市の懸け橋となるよう自分の力を注ぎたいと思います。